

DATA FILE



がん

しろ

うん

も

名 前	FUCHSITE (フクサイト) / 含クロム白雲母
化学組成	$K(Al,Cr)_2(AlSi_3)O_{10}(OH)_2$
色	緑色
光 沢	真珠光沢
蛍 光	なし
条 痕	白色
劈 開	完全
断 口	不規則
硬 度	2.5 ~ 3
比 重	2.9

含クロム白雲母

FUCHSITE

力

英名の「フクサイト」は、さまざまな雲母の研究で知られるドイツの鉱物学者ヨハン・ネボムク・フックスにちなんで名づけられた。

ハンマーでたたくと不規則な断口を示す。

薄い擬六角板状で産出した含クロム白雲母。

真珠のような光沢を持ち、素焼きの陶板にこすりつけると白色の条痕が残る。



雲母片岩、変成ドロマイト、大理石などの中に生成し、雲母片岩中では黒雲母と共生している。

白雲母のなかまで、クロムを含むため緑色をしている。



クロム含有量により色の濃淡が変化

白雲母のなかまで、「クロム白雲母」や「クロム雲母」とも呼ばれる含クロム白雲母は、クロムを含むため緑色をしており、その含有量により色の濃淡が微妙に変わるのが特徴。雲母片岩、変成ドロマイト、大理石などの中から、微細な結晶が集合した大きな塊や、薄い板状の結晶で産出し、大きな結晶は擬六角板状であらわれることが多い。

白雲母のなかまには、含クロム白雲母のほかに、細かい結晶が粘土状の塊になってあらわれる絹雲母や、水を多く含むハイドロマスコバイト、ケイ素を多く含むフェンジャイトなどがある。



▲擬六角形の含クロム白雲母。イタリア産。

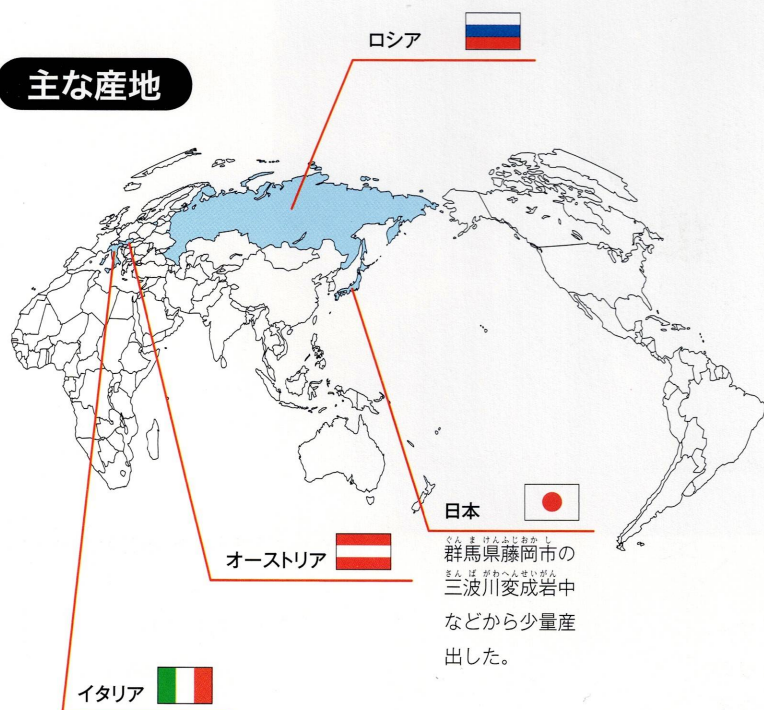


▲イタリアのノバーラで産出した含クロム白雲母。

クロムフィライトの発見

含クロム白雲母は、白雲母の組成のうち、アルミニウムをクロムに一部置換した変種で、独立した鉱物ではない。一方、最近になって、「クロムフィライト」という鉱物が発見され、雲母グループに属する独立種として認められた。クロムフィライトの化学組成は $[KCr_2AlSi_3O_{10}(OH)_2]$ で、白雲母 $[KAl_2AlSi_3O_{10}(OH)_2]$ よりアルミニウムが少なく、その代わりにクロムを含んでいる。

主な産地



▶劈開のすじがよく見える含クロム白雲母。

